

2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ワカ製作所 上場取引所 東
コード番号 6527 URL https://www.waka.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若林 佳之助
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 山口 哲哉 TEL 03 (6635) 5410
定時株主総会開催予定日 2025年12月19日 配当支払開始予定日 —
発行者情報提出予定日 2025年12月30日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の業績 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	987	5.9	24	—	26	—	29	—
2024年9月期	933	△11.8	△77	—	△65	—	△97	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	32.46	—	4.7	3.0	2.5
2024年9月期	△105.46	—	△14.6	△7.3	△8.3

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期 ー百万円 2024年9月期 ー百万円
注. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、又、前事業年度は1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	913	647	70.8	703.32
2024年9月期	853	617	72.3	670.86

(参考) 自己資本 2025年9月期 647百万円 2024年9月期 617百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	56	△8	—	244
2024年9月期	△55	△66	15	188

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期 (予想)	0.00	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年9月期の業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,022	3.6	37	49.3	36	36.9	35	20.4	39.08

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年9月期	920,000株	2024年9月期	920,000株
2025年9月期	一株	2024年9月期	一株
2025年9月期	920,000株	2024年9月期	920,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当期の経営成績の概況	2
（2）当期の財政状態の概況	2
（3）当期のキャッシュ・フローの概況	2
（4）今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
（1）貸借対照表	4
（2）損益計算書	6
（3）株主資本等変動計算書	8
（4）キャッシュ・フロー計算書	9
（5）財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（会計方針の変更）	10
（会計上の見積りの変更）	10
（持分法損益等）	10
（セグメント情報）	10
（1株当たり情報）	10
（重要な後発事象）	10

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当事業年度のおが国経済は、設備投資が緩やかに持ち直しており、景気は緩やかに回復しています。電子機器ならびに電子部品・デバイス関連製造業においては、生成AIの普及拡大に関連する需要の増加等はみられるものの、自動車やPC・スマートフォンなど従来用途は伸び悩んでおり、景況感は一進一退の状況となっております。

海外経済においては、米国では景気の拡大が緩やかとなる中、関税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響や不透明感がみられます。景気の先行きは通商政策が物価や消費等に与える影響から、その勢いが更に弱まる可能性があります。また、高い金利水準の継続に伴う影響による下振れリスク、今後の通商政策など政策動向による影響に留意する必要があります。

このような状況のもと、当社は、当社製・商品が使用される半導体分野及び情報通信分野の高度化する市場ニーズへの対応を目指し、高周波対応同軸コネクタ・ケーブル等の開発・製造体制の強化を推進して参りました。

半導体分野においては、生成AI活用拡大に伴う需要増加や中国における設備投資継続により半導体製造装置の市場は回復に向かっていているものの、足元で半導体メーカーによる設備投資計画の調整が見受けられ、本格的な部品需要回復には至っておりません。

情報通信分野においては、前期から引き続き5G開発市場の動向は不安定であり、5Gミリ波サービスの展開は依然として限定的なものに留まっております。自動車分野やローカル5Gなどの5G利活用の領域における各種実証実験、次世代の通信規格である6Gに向けた研究開発、生成AIの普及拡大によるデータ・トラフィックの急増に対応するネットワークの更なる高度化技術開発、人工衛星を利用した地球観測や通信事業の展開、さらにはオール光化を目指すIOWNの研究開発等が進められているものの、当社製・商品を含む高周波関連部品への需要回復は低水準に留まっております。

半導体関連市場向け、通信機器及び通信計測市場向けの部品需要回復は依然低水準に留まっているものの、一部の高付加価値製品に需要の回復が見られ、また、工賃・原材料価格上昇等を踏まえた製品価格見直しを進めた結果、当事業年度の売上高は987百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は24百万円（前事業年度は営業損失77百万円）、経常利益は26百万円（前事業年度は経常損失65百万円）、当期純利益は29百万円（前事業年度は当期純損失97百万円）となりました。

なお、当社は、「電子部品製造販売事業」の単一セグメントとしております。

（2）当期の財政状態の概況

（流動資産）

当事業年度末における流動資産は、前事業年度末に比べ84百万円増加し、625百万円となりました。これは主に、「現金及び預金」が56百万円、及び「受取手形、電子記録債権及び売掛金」が35百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当事業年度末における固定資産は、前事業年度末に比べ24百万円減少し、288百万円となりました。これは主に、「有形固定資産」が25百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当事業年度末における流動負債は、前事業年度末に比べ22百万円増加し、185百万円となりました。これは主に、「賞与引当金」が12百万円、「未払金」が8百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当事業年度末における固定負債は、前事業年度末に比べ8百万円増加し、81百万円となりました。これは、「役員退職慰労引当金」が8百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比べ29百万円増加し、647百万円となりました。これは、「当期純利益」を29百万円計上したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比べ56百万円増加し、244百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、56百万円の収入（前年同期は55百万円の支出）となりました。これは、税引前当期純利益26百万円、減価償却費33百万円、売上債権の増加額35百万円、賞与引当金の増加額12百万円が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8百万円の支出（前年同期は66百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出7百万円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、ありませんでした（前年同期は15百万円の収入）。

(4) 今後の見通し

半導体製造装置・計測装置市場については中長期的には成長を見込んでいるものの、具体的な需要回復時期は2026年4月以降と予想しております。

高速通信に関連する市場においては、5G開発市場の投資は慎重姿勢が継続するものの緩やかに回復していくと予想し、生成AIによるネットワークの高速化関連の開発市場の進展を見込んでおります。

地政学リスクや半導体をはじめとする部材調達リスクについては、今後も継続すると見込んでおり、当社の調達・生産活動への影響、ならびに当社の販売先顧客の生産への影響が想定されます。

このような事業環境の下、当社は高品質な高周波伝送路を提供することにより通信の高速化やデバイスの高性能化を支え、5Gを始めとする高速通信関連の需要獲得を図るとともに、次なる成長に向けてBeyond 5G/6Gを見据えた製品開発に取り組んでまいります。

上記より、2026年9月期の業績につきましては、売上高は1,022百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益37百万円（前年同期比49.3%増）、経常利益36百万円（前年同期比36.9%増）、当期純利益35百万円（前年同期比20.4%増）をそれぞれ見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、主に日本国内において事業を展開していることなどから、日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえたうえで検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	188,026	244,822
受取手形	6,916	12,897
電子記録債権	192	9,971
売掛金	155,729	175,786
商品及び製品	29,807	30,723
仕掛品	13,728	15,212
原材料及び貯蔵品	131,503	132,595
前払費用	4,637	5,142
その他	11,712	38
貸倒引当金	△1,302	△1,589
流動資産合計	540,951	625,601
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	121,807	112,524
構築物（純額）	1,531	1,140
機械及び装置（純額）	38,929	31,717
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	28,691	20,162
土地	69,113	69,113
有形固定資産合計	260,074	234,657
無形固定資産		
ソフトウェア	3,713	2,309
無形固定資産合計	3,713	2,309
投資その他の資産		
出資金	10	10
差入保証金	4,781	3,177
保険積立金	27,162	28,597
長期前払費用	1,892	1,051
繰延税金資産	14,580	18,356
破産更生債権等	100	100
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	48,476	51,243
固定資産合計	312,264	288,210
資産合計	853,216	913,811

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,321	36,528
短期借入金	90,000	90,000
未払金	24,549	33,171
未払費用	7,078	7,366
未払法人税等	697	697
預り金	4,729	4,831
賞与引当金	—	12,926
流動負債合計	163,376	185,520
固定負債		
役員退職慰労引当金	72,647	81,233
固定負債合計	72,647	81,233
負債合計	236,024	266,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,000	23,000
利益剰余金		
利益準備金	12,500	12,500
その他利益剰余金		
別途積立金	83,407	83,407
繰越利益剰余金	498,284	528,150
利益剰余金合計	594,192	624,057
株主資本合計	617,192	647,057
純資産合計	617,192	647,057
負債純資産合計	853,216	913,811

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高		
製品売上高	693,541	834,653
商品売上高	239,474	153,004
売上高合計	933,015	987,658
売上原価		
製品売上原価		
製品期首棚卸高	12,070	9,325
当期製品製造原価	427,703	421,539
合計	439,773	430,864
製品期末棚卸高	9,325	10,406
製品売上原価	430,448	420,458
商品売上原価		
商品期首棚卸高	21,553	20,481
商品仕入高	154,764	105,325
合計	176,317	125,807
商品期末棚卸高	20,481	20,317
商品売上原価	155,836	105,489
売上原価合計	586,284	525,948
売上総利益	346,731	461,709
販売費及び一般管理費	424,551	436,791
営業利益及び営業損失 (△)	△77,820	24,918
営業外収益		
受取利息	6	72
為替差益	—	1,744
補助金収入	10,910	170
スクラップ売却益	827	475
講演料	1,042	900
その他	1,242	30
営業外収益合計	14,028	3,394
営業外費用		
支払利息	1,322	1,547
信用保証料	12	—
為替差損	491	—
その他	—	0
営業外費用合計	1,826	1,547
経常利益又は経常損失 (△)	△65,617	26,764
特別利益		
固定資産売却益	519	22
特別利益合計	519	22
特別損失		
工場移転費用	9,399	—
特別損失合計	9,399	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△74,497	26,787
法人税、住民税及び事業税	698	697
法人税等調整額	21,835	△3,776
法人税等合計	22,533	△3,078
当期純利益又は当期純損失 (△)	△97,031	29,865

製造原価明細書

		前事業年度 (自2023年10月 1 日 至2024年 9 月30日)		当事業年度 (自2024年10月 1 日 至2025年 9 月30日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	186,969	43.7	189,743	44.9
II 労務費		180,997	42.3	177,160	41.9
III 経費		59,958	14.0	56,119	13.2
当期総製造費用		427,925	100.0	423,022	100.0
期首仕掛品棚卸高		13,506		13,728	
合計		441,432		436,751	
期末仕掛品棚卸高		13,728		15,212	
当期製品製造原価		427,703		421,539	

(注) ※1. 主な内訳は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自2023年10月 1 日 至2024年 9 月30日)	当事業年度 (自2024年10月 1 日 至2025年 9 月30日)
外注加工費 (千円)	346	30
水道光熱費 (千円)	8,797	8,264
修繕費 (千円)	5,720	5,562
開発費 (千円)	399	2,347
減価償却費 (千円)	16,786	15,075

(原価計算の方法)

当社の原価計算は実際原価による総合原価計算を採用しております。

(3) 株主資本等変動計算書
前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
			別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	23,000	12,500	83,407	595,316	691,223	714,223	714,223
当期変動額							
当期純損失（△）				△97,031	△97,031	△97,031	△97,031
当期変動額合計	－	－	－	△97,031	△97,031	△97,031	△97,031
当期末残高	23,000	12,500	83,407	498,284	594,192	617,192	617,192

当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
			別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	23, 000	12, 500	83, 407	498, 284	594, 192	617, 192	617, 192
当期変動額							
当期純利益				29, 865	29, 865	29, 865	29, 865
当期変動額合計	—	—	—	29, 865	29, 865	29, 865	29, 865
当期末残高	23, 000	12, 500	83, 407	528, 150	624, 057	647, 057	647, 057

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△74,497	26,787
減価償却費	34,684	33,877
敷金償却費	1,600	1,600
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	12,926
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,568	8,585
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	45	286
受取利息	△6	△72
支払利息	1,322	1,547
支払保証料	12	—
為替差損益 (△は益)	△3,524	△9,215
固定資産売却益	△519	△22
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,565	△35,816
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,920	△3,491
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△10,112	11,168
仕入債務の増減額 (△は減少)	456	206
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△20,359	9,011
その他	—	840
小計	△69,815	58,219
利息及び配当金の受取額	6	72
利息及び保証料の支払額	△1,335	△1,547
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	15,972	△697
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,172	56,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△64,122	△7,056
有形固定資産の売却による収入	520	22
無形固定資産の取得による支出	△2,000	—
差入保証金の返戻による収入	—	3
その他	△999	△1,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,601	△8,465
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,000	—
社債の償還による支出	△4,500	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,500	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,524	9,215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△102,749	56,796
現金及び現金同等物の期首残高	290,776	188,026
現金及び現金同等物の期末残高	188,026	244,822

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)
該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)
該当事項はありません。

(セグメント情報)
当社は、電子部品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

(単位：円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	670.86	703.32
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△105.46	32.46

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、又、前事業年度は1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益又は 当期純損失(△)		
当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	△97,031	29,865
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	△97,031	29,865
普通株式の期中平均株式数 (株)	920,000	920,000

(重要な後発事象)
該当事項はありません。